



6/30

Hirado City Photo News

有事の際を想定して



生月漁港に地域住民や市、消防、自衛隊、警察などの関係機関が集まり、豪雨による土砂災害や地震による被害などを想定した「平戸市総合防災訓練」が実施されました。

訓練では、小雨が降る中、関係機関による被害状況の情報伝達訓練や土砂災害による倒壊家屋・車輛からの救助訓練、ドローンによる偵察訓練、自主防災組織や平戸防災ネットワーク、婦人防火クラブなどによる初期消火訓練などが行われました。最後は、消防団を中心とした一斉放水も行われました。



6/29

Hirado City Photo News

子どもの頑張りを認める



平戸文化センターで『「いいんだよ」は魔法の言葉～寛容の精神が醸成される社会へ～』と題し講演会が開催されました。

講師は不登校生徒の自立支援に取り組む福岡市の私立立花高校の齋藤真人校長で、平戸小学校、田助小学校、平戸中学校のPTAが企画。当日は約800人の保護者や児童生徒が参加しました。

齋藤校長は、保護者に向け「寛容の精神をもつことや子どもの小さな頑張りを大人が認めてあげることが大切」と話しました。

6/27

Hirado City Photo News

水道の大切さを表現



平戸市社会福祉センターで「第61回水道週間」平戸市水道事業作品表彰式が行われました。

「水道週間」は、厚生労働省が水道に対する理解を深めようと毎年6月1日から7日までを設定しています。それに併せ平戸市では、市内小学校の児童を対象に水道に関する習字、標語、図画・ポスターなどの作品を募集。今年は323作品の応募があり、35作品が入賞しました。今回入賞した作品は、日本水道協会などが主催する「第61回水道週間」協賛全国懸賞募集の応募作品として出品されます。

叙位ならびに各種表彰者

叙位



元生月町議会議員

おおはた さだお
故大畑 貞夫さん
(生月町)

昭和54年から平成15年まで生月町議会議員として地方自治の振興に尽力。その間、生月町議会副議長や、館浦漁業協同組合理事、長崎県旋網漁業協同組合代表監事、日本遠洋旋網漁業協同組合理事などを歴任し、水産業の振興・発展に多大な貢献をされました。

農林水産省主催第3回食育活動表彰



消費・安全局長賞 平戸市食育推進会議

学校給食を食育の生きた教材ととらえ、地場産品の使用推進では、国の目標値30%に対し、70%を超える高い利用率にあるなど、各部門の平戸独自の取組みが評価されました。

ロンドン酒チャレンジ2019(純米酒部門)



金賞 フィランド夢名酒(森酒造場)

28人の酒ソムリエが日本の蔵元から出品された純米酒や大吟醸酒など計7部門のお酒を審査。「フィランド」は、フルーティーで上品な口当たりや味のきれなどが評価されました。

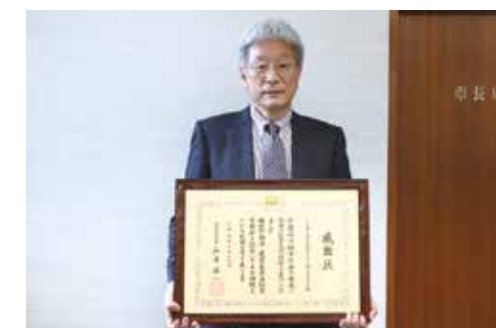
第23回長崎県中学生空手道選手権大会



男子団体組手
優勝
生月中学校空手部

男子個人形
優勝
はと りょうすけ
破戸 峻佑さん
(生月中学校1年)

都市計画法・建築基準法制定100周年記念事業



国土交通大臣表彰
平戸城下旧町地区歴史的まちなみづくり協定運営委員会

平戸城下旧町地区にある、伝統的町屋を活かしたまちづくりの取り組みなどが評価されました。



7/13 Hirado City Photo News 古楽器、朗読、寸劇を交えて



生月町開発総合センターで、宝くじ文化公演「アントネッロ天正遣欧少年使節の物語」が上演されました。

アントネッロは古楽器アンサンブルのグループで、キリシタン領主大村純忠が16世紀後半にヨーロッパに派遣した4人の使節、「天正遣欧少年使節」の話を、古楽器の演奏に朗読と寸劇を交えて演じました。

古楽器が奏でる16世紀のヨーロッパ音楽と少年たちの物語に、訪れた約220人の観客は熱心に聞き入っていました。

7/4 Hirado City Photo News 戦没者を追悼し平和を誓う



平戸文化センターで「戦没者追悼式」が開催され、戦没者遺族の皆さんや来賓などが参列しました。

式では遺族を代表して、大下惣市さん、田島二男さん、西川靖子さん、末永文雄さんが献花。平戸市連合遺族会会長の岡山紀一さんが追悼の詞を捧げました。また、平戸小学校6年生も参列し、命のつながりへの思いと平和への誓いを全員で宣誓し、合唱しました。その後、県立猶興館高校吹奏楽部の生徒による演奏がおこなわれ、戦没者を追悼しました。

7/13 Hirado City Photo News 32mの巨大かっぱ巻き作りに挑戦



田平町民センターで、「第32回がわっぱ祭」が開催されました。このお祭は、がわっぱの言い伝えを伝承するために、同祭伝承会が毎年開いています。

当日は、32回目の開催を記念し、32mのかっぱ巻き作りに挑戦。地元児童ら約160人が掛け声に合わせて一斉に巻きました。

また、がわっぱ相撲やがわっぱ安全教室、かっぱに関する絵画やポスターの展示なども行われました。特に、がわっぱ相撲では子どもたちや保護者の歓声で会場は大いに盛り上がりしました。



7/16 Hirado City Photo News 30年に一度しか咲かない花



志々伎町の大浦ミヤ子さんの自宅で育てていた観音竹の花が開花しました。

花木を育てるのが趣味のミヤ子さんが、約30年前に購入して育てていたところ、7月中旬ごろに花が咲いているのを発見しました。

観音竹は、ヤシ科の植物で主に観葉植物として栽培されており、花が咲くことは非常に珍しいとのこと。ミヤ子さんは「この花が咲くと、幸運をもたらすと聞いたことがあるので、たくさんの人たちに幸せが訪れてほしいですね」と話しました。

7/14 Hirado City Photo News 東アジアの英雄の遺徳をしのぶ



川内町の鄭成功記念館前で「鄭成功生誕祭」が開催されました。

式典には、地元住民や中国、台湾の関係者などが参列。中国南安市の李少敏副市長などがあいさつした後、参列者による玉串奉天などが行われました。

式典終了後には、地元の「中野自安和楽」保存会による国指定重要無形民俗文化財のジャンガラが奉納され、訪れた人たちはジャンガラの鐘の音と舞を観覧しながら、台湾建国の父、鄭成功の遺徳をしのびました。

7/1 Hirado City Photo News 懐柔櫓の宿泊施設化に向けて



平戸市役所3階会議室で、平戸城懐柔櫓の宿泊施設化改修・運営事業の優先交渉権者が発表されました。

優先交渉権者に決定したのは「kessha株式会社」を代表とし、「株式会社アトリエ・天工人」「日本航空株式会社」の3社で構成する「城泊J.V.」で、年内に着工し、来年7月ごろの開業を目指します。

計画では、櫓に泊まれるのは1日1組限定で、さらびやかな内装や平戸瀬戸を一望できる風呂が設置される予定です。

6/29 Hirado City Photo News 対話による地方議会の活性化



田平町民センターで「輝け議会!! 対話による地方議会改革フォーラムin平戸(ローカルマニフェストネットワーク九州主催)」が開催されました。

地方分権、少子高齢化社会の時代において地方議会が担う役割について、早稲田大学名誉教授で元三重県知事の北川正恭さんによる基調講演や、小値賀町や長与町の議会の取り組みについての事例発表が行われました。その後、議員や市民らが5～6人のグループごとに分かれて、対話による地方議会の役割について、立場や世代を超えて議論しました。